



かとう市議会だより

JAPAN BASSPRO ASSOCIATION
JB II PROAMA TOJO
CHAPTER HYOGO

Bass Fishing Tournament
2025 6/15 SUN 加東市杯 in 東条湖
KATO CITY × IMAKATSU × Exhibition Chapter

第74号 2025.8
6月定例会



バスフィッシングトーナメント加東市杯 in 東条湖

6月15日に加東市×イチバンエイトグループ×IMAKATSUで、東条湖にて開催されました。
バストーナメントを市が開催するのは全国初。50cm以上のビッグサイズのバスも上がり
盛り上がりました。

9月定例会 KCVにて

生放送、録画放送を行います ぜひご覧ください

～トイレカー購入 財源変更を不承認～ 公共施設整備基金からの財源充当に異論

第125回市議会定例会は6月2日に招集され、6月26日までの会期25日間で開催した。

市長より専決処分、令和7年度各会計補正予算、条例の一部改正、人事案件、財産取得等18件が提案された。審議の結果、専決処分（令和6年度一般会計補正予算（第10号））は不承認とし、その他の議案は原案のとおり決定した。

また、令和6年度予算繰越計算書の報告等7件の報告を受けた。16日、17日の一般質問では12人の議員が市政等について市長及び教育長の考えをたじた。

最終日に総務文教常任委員会と議員提出の意見書各1件は全会一致で、議員提出の「加東市議会議員選挙と加東市長選挙の同時執行に関する決議」は賛成多数で議決した。

専決処分の承認

承認第1号 専決処分の承認

（令和6年度一般会計補正予算（第10号））

【概要】自走式トイレカーを購入する財源を国庫支出金および市債としていたが、平成29年度に受けた寄附金を積み立てていた公共施設整備基金を活用することとし、財源の変更を専決処分した。

【問】公共施設整備基金をトイレカー購入の財源に充当することは、公共施設整備基金条例の規定上、適切か。

【答】市の解釈は、公共施設とは建物及び設備という広い範囲であり、トイレカーは施設・設備同等という考えで基金の活用を決定した。適切である。

反対討論

○条例の規定では公共施設整備基金は、公共施設整備が目的である。トイレカーを公共施設同等と拡大解釈した基金の取り崩しは問題があり条例違反と考え反対する。（藤尾）

○基金を取り崩しても問題がないよう条例改正等を先に行うべきであり反対する。（小川）

賛成少数で不承認

※議決結果一覧表（P4）参照

報告第10号 専決処分が不承認であったことに対して講じる措置の報告

- 1 取り崩した基金を補てんするため、次期定例会で令和7年度一般会計補正予算を計上する。
- 2 基金の設置目的や処分範囲を明確にするため、次期定例会に条例改正案を提出する。
- 3 市民に対して今回の経緯を市広報、ホームページで説明する。

予算

第34号議案 一般会計補正予算（第1号）

【概要】歳入歳出それぞれ約2356万円の減額補正

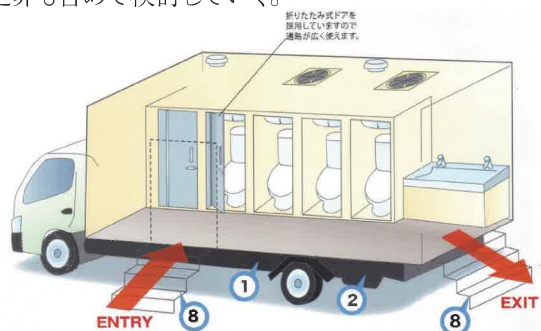
- ◇民生費＝約987万円増額（身体障害者の自立支援医療給付費の増等）
- ◇農林水産業費＝約345万円増額（認定新規就農者の機械導入に係る経営発展支援事業補助金追加等）
- ◇教育費＝約73万円増額（不登校児童生徒支援施設（フリースクール）利用補助金の追加等）
- ◆総務費＝約732万円減額（ふるさと納税推進事業委託料や地方バス路線維持対策補助金の減等）
- ◆消防費＝約3019万円減額（トイレカーの減等）

【問】消防費でトイレカー購入にかかる事業費の全額を減額した理由は。

【答】トイレカーは、当初から1台の購入を予定していた。その財源とする国の令和6年度の交付金の内示が不確定であったため、令和6年度補正予算と令和7年度当初予算の両方で予算措置した。その後、令和6年度の国補正予算の交付決定に伴い、令和7年度当初予算から購入費用を減額する。

【問】2台目を購入してもいいのではないか。このような防災的な予算を減額するのはいかがなものか。

【答】まずは1台購入して運用しながら2台目購入の是非も含めて検討していく。



トイレカー（イメージ）

【問】フリースクールに通う加東市の児童生徒の実態と予算額（120万円）の積算根拠は。

【答】今年度、市外のフリースクールに通う児童生徒3名の他、申請中が3名。予算額は、昨年度に相談があった方を含め計10名分を計上している。



【問】行政経営改革推進事業の目的とその内容は。

【答】業務棚卸シートの作成や、全課のヒアリング結果を取りまとめた分析するとともに、職員の意識改革を行うことで、業務の効率化、改善に繋げていく。

【問】鳥獣被害防止総合対策事業で、県の補助金が要望額を下回った理由の分析はしているのか。

【答】全国的に補助率が低いとの情報を得ている。兵庫県では約40%しか補助金が見つからない状況である。

全会一致で可決

財産取得

第42号議案 自走式トイレカー購入の件

【購入目的】大規模災害時に避難所での衛生的なトイレ環境を確保するため。また、平時は市事業で展示するなど、市民への防災啓発に有効活用する。

- ・購入予定金額：29,469,000円（税込）
- ・契約の相手方：㈱モリタ関西支店
- ・納入期限：令和8年3月13日

【問】四輪駆動車ではないが災害現場に出動する時に問題はないのか。

【答】基本的には加東市での災害時発生への備えや平時の活用である。能登半島で1年間実際に使用した南あわじ市にも聞き取りながら決定した。

全会一致で可決

第43号議案 学習者用端末購入の件

【購入目的】令和2年度に導入した端末機器の更新に伴い学習者用端末1250台を購入する。

- ・購入予定金額：68,475,000円（税込）
 - ・契約の相手方：日本電通㈱ 神戸支店
 - ・納入期限：令和7年8月29日
- ※国の補助金を活用するには兵庫県の共同調達による購入が条件であるため随意契約で購入する。

【問】購入かリースかは自治体の判断によるのか。

【答】支払い区分は自治体が決定する。加東市では、リースの場合、購入より総支払額が高額になるため購入を選択した。

全会一致で可決

第47号議案 小型動力ポンプ付積載車等購入の件

【購入目的】新規登録後17年以上経過した小型動力ポンプ付積載車等（5台）を更新し、地域の消防防災力の強化を図る。

- ・購入予定金額：68,794,000円（税込）
- ・契約の相手方：㈲岡本ポンプ
- ・小型動力ポンプ付積載車更新分団
上久米分団・横谷分団・森分団・厚利分団
- ・小型動力ポンプ積載車更新分団：社分団
- ・納入期限：令和8年2月27日

全会一致で可決



小型動力ポンプ付積載車

意見書

意見書案第1号

「35人学級の着実な推進を求める意見書」

〔総務文教常任委員会提出〕

- 1 小学校において特別支援学級に在籍する児童が通常学級との交流及び共同学習で活動する場合、児童数が35人を超える可能性があることから、特別支援学級在籍児童数を通常学級編制時の児童数として計上すること。
- 2 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。

全会一致で可決

意見書案第2号

「刑事訴訟法の再審規定の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書」

〔提出者：松本美和子、藤尾 潔、長谷川幹雄〕

えん罪被害者を速やかに救済するため、再審請求手続きの透明性を確保し、証拠開示の制度化を進め、再審手続きが不当に長期化することのないよう、国におかれては、刑事訴訟法の再審規定を速やかに改正するよう強く求める。

全会一致で可決

決議

決議案第1号 加東市議会議員選挙と加東市長選挙の同時執行に関する決議（概要）

〔提出者 小川忠市・中村龍治・大久保忠義・橋本匡史・大畑一千代・長谷川幹雄・小紫泰良・藤尾 潔〕

平成18年3月20日、加東郡旧3町が合併し加東市が誕生した。その際、旧町の議員には在任特例を適用したため、市長選挙の約6カ月後に市議会議員選挙が執行され、現在まで継続している。

現在、加東市においては小中一貫校の整備などの大型事業により、市財政の見直しが迫られており、行財政改革が求められるところである。

議会も、不断の議会改革に取り組んできた。その取組の一つとして、議員定数を16人から14人とした。その効果を早期に実現するとともに行財政改革に資するため、市議会議員選挙と市長選挙を同時に行うべく「自主解散」について決断すべきときであると考える。

以上、決議する。

【問】今後、市長が4年間の任期を全うせず途中で辞めた場合、また同じように議会を自主解散するのか。

【答】市長辞任や議会解散等、さまざまな事情でずれが生じた場合は、その時の議会が判断することである。

反対討論

- 20年間一度も議論されておらず、有識者から「市民に選ばれた議員の地位を他の議員が失わせることは問題である。」との指摘もあり、市民や有識者の意見を聞き丁寧な議論を行い決めるべき。（松本）
- 私が言うのもなんだが、議員の責務は1期4年を勤めることである。経費論だけではなく、議会の権利と責任について議論が必要であり、次期の選挙で任期を短縮して実施してはどうか。（小松）
- 我々は選挙で4年間の任期で住民の負託を受けており、自主解散は職務放棄である。また、任期中に決算審査をして選挙戦へ臨むという現行の半年のずれの方がメリットがあり同時選挙に反対する。（大城戸）

賛成討論

- 同時選挙は選挙事務等の経費や、職員の時間外勤務手当が削減できる。また、議員定数減の費用削減効果を早期に出すためにも今、判断すべきであり賛成する。（中村）
- 現行のずれは効率性・合理性の観点から問題である。自主解散は行財政改革の観点から極めて有意義であり、また議会として市民の理解と信頼を得るために、率先して改革を断行すべきだ。（橋本）
- 議会報告会でも市民から秋の農繁期の市議会議員選挙への批判もあった。同時選挙は投票率アップも期待でき、議会改革の観点からも合併20年の節目の今、実践すべきであり賛成する。（長谷川）
- 我々は定数を14人に減らしておきながら、来年4月の補欠選挙で再び16人に戻すことは市民の理解が得られない。同時選挙はメリットが多く、デメリットはほとんどないため賛成する。（大畑）
- 選挙が少ない方が選挙立会人の選定、業務の負担、さらに職員の負担軽減や選挙関連経費の削減となる。議会の自主解散による同時選挙は合理的であり、デメリットもないため賛成する。（大久保）
- 同日選挙は経費削減等財政面の効果、また選挙従事職員や有権者の負担軽減、さらに補欠選挙も回避できる。全議員が同日選挙を決断することが住民の負託に応えることになると考え賛成する。（小紫）
- 現行のずれは合併時の特例適用に起因する。合併後20年が経過する今、本来の同時選挙に戻すべき。このまま放置しておけば、議会に対する市民の無関心がさらに増すため決議に賛成する。（藤尾）
- 同日選挙実施は議会報告会や市民アンケート調査でいただいた市民の声や意見である。その声にしっかりと向き合って判断すべき時が今であり、賛成する。（別府）

賛成多数で可決

※議決結果一覧表参照

【ご意見募集】決議案の審議の過程で「市民の意見を聞いて進めるべき」との意見がありました。

つきましては、郵送、Eメールまたは回答フォーム（右記QRコード）にて「議会の自主解散による市長・市議の同時選挙実施」に関するご意見をいただければと思います。

今後の審議の参考にさせていただきます。締切日：令和7年8月31日(日)（送付先は裏表紙参照）



議決結果一覧（賛否の分かれたもの）

○……賛成 ×……反対 欠……欠席 ※その他の議案は全て全会一致で可決した。

	議案 番号	議 案 名	中村 龍治	大久保 忠義	橋本 匡史	松本 美和子	大城戸 聡子	小松 志津雄	別府 みどり	廣畑 貞一	大畑 千代	高瀬 俊介	長谷川 幹雄	岸本 真知子	小川 忠市	小紫 泰良	藤尾 潔	議決結果
第125回 定例会	承認第1号	専決処分の承認を求める件 (令和6年度加東市一般会計補正予算(第10号))	×	×	×	×	○	×	○	欠	×	○	○	議	×	○	×	不承認(賛成5 反対8)
	決議案第1号	加東市議会議員選挙と加東市長選挙の同時執行に関する決議	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	長	○	○	○	可決(賛成11 反対3)

次期ごみ処理施設建設へ

4月15日と5月13日に委員会を開催し、所管事務4件の調査を行った。また、6月定例会会期中の6月4日に委員会を開催し、所管事務3件を調査するとともに「35人学級の着実な推進を求める意見書」(→p3)を本会議に提案した。

次期ごみ処理施設整備の進捗状況について

【概要】 小野加東加西環境施設事務組合が運営する現小野クリーンセンターは、平成元年4月の供用開始から36年が経過し、老朽化による補修費の増加が課題となっている。また地元自治会との協議により、設置期間は50年と定められていることから、新たな施設を整備することから、新たな施設を整備する。

【建設予定地】 小野市浄谷町地内

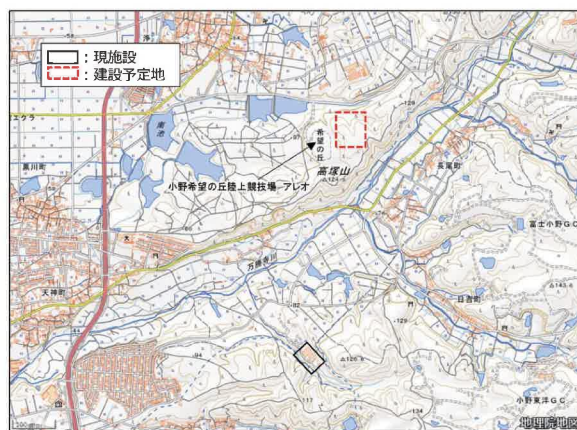
【供用開始予定】 令和17年度

【施設規模】 ごみ処理焼却施設: 98t/日

マテリアルリサイクル施設: 14.3t/日

【付帯機能】 避難所、災害廃棄物の仮置場、環境教育機能、余熱利用施設(温水プール等)について検討

【概算事業費】 296億4525万円(付帯施設、周辺対策事業費などは含まない。3市で分担。)



出典:国土地理院地図に加筆

令和6年度 教育委員会点検と評価

【概要】 加東市教育振興基本計画に基づき令和6年度の取組をA～Dの4段階で評価。

基本項目16項目中、A評価: 2、B評価: 6、C評価: 3、D評価: 5

【問】 循環型社会形成推進交付金の制度を活用するため、余熱利用が義務付けられている中で、なぜ温水プールになったのか。

【答】 余熱利用の対象となるもので温水プールが適当ということで、小野市が強い意向を持っているが、付帯施設については今後も検討を進めるため最終決定ではない。

【問】 交付金採択要件をクリアするため、ごみの分別等に影響はないのか。

【答】 ごみ袋の有料化や、プラスチックごみ分別収集・再商品化などが条件になるが、加東市ではすでに取り組んでいるため市民への影響はない。ただ、加東市では収集した硬質プラスチックをRPF(固形燃料の材料)としてサーマルリサイクルしているが、再商品化の手法については検討しなければならない。

【問】 焼却施設の処理能力が100tを超えると補助金が減額となるため98tで計画しているが、ライフスタイルも変化している中、計画通り進むのか。

【答】 人口動向なども加味して計画を立てている。令和5年度の実績では1日あたり約88tのごみが排出されているが、施設処理能力に実稼働率を乗じた排出量一日約78tに抑制しなければならない。

【問】 いじめの認知件数が、令和5年度までは190～200件超と多かったのに令和6年度は100件と急減している。実態と乖離しているようなことはないか。

【答】 学期ごとに児童生徒に困りごとの調査を行っており、困ったことの記入があれば教員が面談・聞き取り等を行い対処している。生徒会・児童会でのいじめ防止フォーラム等を開き自分たちが主体的にいじめを許さないという思いを持って学校生活を送っていることが減少の要因と考えられる。

【問】 部活動の地域展開を進めるため、市でも外部指導員の拡充を目標にしているが、部活動指導に必要な資格の取得や、遠征を行う場合に費用の負担が生じるケースがあると聞く。市で負担すべきでは。

【答】 部活動の地域展開を進めていく中で協力を得ていくため、必要な補助は検討する。



委員会中継 QR



委員会資料 QR

創業者支援補助事業補助金審査委員会を設置！

審査方法に

プレゼンテーション方式追加へ

5月15日に委員会を開催し、所管事務3件の調査を行った。また、6月定例会会期中の6月5日に開催した委員会では、所管事務1件を調査した。

所管事務調査

創業者支援補助事業補助金審査委員会について

【経緯等】令和6年度は、創業者支援に対する相談が13件と多く、予算を補正し3次募集を行った。その際、3次募集においては、加東市創業者支援補助事業補助金審査委員会により書類審査を行った。令和7年度は、令和6年度に実施した結果を踏まえ、市商工会職員の委員の追加、プレゼンテーション方式を追加するなど、委員構成と審査方法の見直しを行ったうえで、審査委員会による審査を継続する。

概要

(1)審査委員会の内容について

①審査委員会委員（案）

委員数5名 ・加東市商工業振興協議会の委員・加東市商工会職員・金融機関職員・識見を有する者（中小企業診断士）・市職員（産業振興部）

②審査内容

- ・1次審査（資格審査）：書面による事業計画書の審査
- ・2次審査（内容審査）：プレゼンテーション方式による計画内容の評価
- ※実現可能性、継続性、成長性、収益性、地域性、新規性、独創性を審査

(2)審査委員会開催回数

年2回（9月、12月を予定）

令和7年度創業者支援補助事業のスケジュール

- ・7月 創業支援事業補助金（1次公募）開始
- ・8月 1次公募終了
- ・9月 1次公募分審査
⇒交付決定者に補助金申請手続き案内
- ・10月 2次公募開始
- ・11月 2次公募終了
- ・12月 2次公募分審査
⇒交付決定者に補助金申請手続き案内

※1次公募、2次公募に分ける理由

市商工会が実施する「創業塾」の実施時期が夏（7～8月）と冬（1～2月）の2回あり、この創業塾の修了証書を補助金申請の資格要件の一つにしているため。

【問】現在この補助金を使って起業した者の状況は。

【答】平成28年度から令和6年度までに23件の補助金を交付しているが、うち6件は廃業している。

創業者支援補助事業補助金の交付状況

	R4年度	R5年度	R6年度	合 計
申請者数（件）	5	4	13	22
補助件数（件）	5	4	11	20
補助金額（千円）	3,533	2,581	8,544	14,658

※令和6年度の申請者数と補助件数との差異（2件）は、審査の結果、補助決定基準点数を下回ったため。



委員会中継 QR



委員会資料 QR

現地調査

概要

工 事 名：令和3年度災害復旧事業 農地・農業用施設復旧工事
場 所：加東市黒石地内
被災原因：令和3年9月8日から9日にかけての豪雨の影響により、農地畦畔及び農道の法面崩壊が発生。水路が埋没・破損した。
工 期：令和3年12月28日～令和6年3月29日
工事の経緯：令和6年3月29日、工期末の時点で一部の工事が残る。
5月27日～28日、140mm/24h超の降雨で、農地法面の一部でクラック発生。
7月末時点、雨の影響で盛土が動いているため、工事の継続が困難となる。
11月13日、兵庫県より補助金返還命令が発出。
11月25日、市から兵庫県へ補助金を返還。（返還額：3978万226円）



黒石地内現地調査の様子

こんな質問をしました

一般質問

一般質問とは、議員が市の一般事務に対してその執行状況や方針等を、市長などの執行機関に直接質問することです。一般質問は定例会の本会議中に行われ、議会に提出された議案とは関係なく行われます。議員は一般質問を行う際は、あらかじめ議長に一般質問の趣旨などを通告します。

1. 大城戸聡子 p.8

- (1) 北はりま成年後見支援センターについて
- (2) 加東市の介護予防、健康づくり事業について
- (3) 加東市業務継続計画（BCP）について
- (4) 加東市の特別支援教育の向上について

2. 中村 龍治 p.8

- (1) 加東市における特別な支援を要する児童を取り巻く環境について
- (2) 物価高騰に伴う加東市の今後の対応について

3. 大久保忠義 p.9

- (1) 登山マップやトレッキングガイドブック作成について
- (2) 中学生の通学かばんの反射テープ取付による交通事故防止について

4. 小川 忠市 p.9

- (1) 「孤立死」について
- (2) 災害時の個別避難計画について
- (3) DX推進（ペーパーレス化）の進捗とその他の課題について

5. 小紫 泰良 p.10

- (1) 滝野総合公園多目的グラウンドの外部トイレの洋式化について
- (2) 「幻の山桜」の復活について

6. 橋本 匡史 p.10

- (1) 東条地域における悪臭被害と市の対応について



7. 長谷川幹雄 p.11

- (1) 東条川河川敷の草刈り作業や中州の堆積物について
- (2) 東条川沿いの桜街道（通学路でもある）のライトアップについて
- (3) 道路沿いの花の植栽と道路の維持管理（国道・県道・市道）について

8. 別府みどり p.11

- (1) 里親支援センターとの連携について
- (2) プレコンセプションケアの取組について
- (3) 緑化推進事業（花いっぱい運動）について

9. 高瀬 俊介 p.12

- (1) 教育現場におけるカスハラ防止とトラブル支援に関して
- (2) 「朝の小1の壁」始業前の居場所確保に関して

10. 大畑一千代 p.12

- (1) 社地域旧小学校等の活用等について
- (2) 保育所・こども園の入所状況について

11. 藤尾 潔 p.13

- (1) 災害関連死認定の体制整備を
- (2) 市民病院の救急医療確保の繰り入れについて
- (3) 水道管の老朽化対策は
- (4) 学校跡地の活用について

12. 松本美和子 p.13

- (1) ひとり親家庭の養育費未払い問題解消に向けた支援強化について
- (2) 高齢者・障がい者の生活支援強化に向けた家庭ごみ戸別収集の導入検討を
- (3) 職員の生理休暇制度改善と働きやすい職場づくりに向けた取り組みについて

一般質問



北はりま成年後見支援センターについて

大城戸聡子 議員



こちらから一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

【問】成年後見は障害のある子をもつ家庭に起きる問題でもある。成人年齢が18歳に早まったこともあり、事前の啓発が重要と考えるが行政の対応は。

【答】制度について各種障害者手帳の申請、更新時に周知する。市の窓口以外（障害サービス利用計画作成時等）でも相談、周知ができるようにする。

□加東市の介護予防、健康づくり事業について

【問】65歳以前からのフレイル予防策として健康課で新規事業を全成人市民対象に導入する予定は。

【答】連携協定締結した住友生命保険相互会社と今年度「Vitalityかとうウォーク」を試験的に運用予定。

□加東市業務継続計画（BCP）について

【問】計画P33に「寝袋4個を備蓄」とあるが、これでは心もとない。今後の対応策は。

【答】それは中央防災備蓄倉庫内の備蓄であり、職員用ではない。被災状況により大きく異なることから、基本的に職員自ら用意することを想定。

□加東市の特別支援教育の向上について

【問】サポートファイルを持つ利点は。

【答】障害の診断の有無に関係なく作成可能。子どもの進学で変わる所属機関の「縦」と保護者や教員等の「横」の連携により、情報共有、共通理解で円滑に引き継がれ、適切かつ効果的で一貫した支援が可能となる。

【問】学校介助員などのスキルアップの取組は。

【答】毎年研修会を開催。学校の事例検討会にも参加。他校の介助員との交流が、自らの支援を振り返る機会にもなる。子どもの成長を関係者で喜びあうことで、働きがいにつながっている。



加東市における特別な支援を要する児童を取り巻く環境について

中村 龍治 議員



【問】特別支援学校については、兵庫県教育委員会が中心となっていることは理解しているが、市に「加東市に特別支援学校がないのは不便だ」という声は届いているか。

【答】保護者から関係課には届いており、特に小中学部では数件あった。また、令和5年度に実施した第7期加東市障害福祉計画策定時のアンケートの中で、支援の必要な子供が通学している保護者を対象に、通学していて感じることの質問項目に対し、「通学に時間がかかる」と回答した人の割合が25.6%あった。このような状況から兵庫県教育委員会へ閉校した小学校を特別支援学校として活用する要望をしているが、具体的な協議は進んでいない。

【問】兵庫県教育委員会への要望後、具体的な協議が進んでいないのはなぜか。

【答】兵庫県教育委員会でも通学時間については今後解消する必要があると聞いているが、なかなか方向性が定まらず今の時点では答えがない状況ではないかと思っている。市としては引き続き、一定の要望を繰り返すが、少し兵庫県教育委員会の考え方がまとまるの

を静観する時期と考えている。

□物価高騰に伴う加東市の今後の対応について

【問】物価高騰に関して加東市へ相談などは寄せられているか。また、今後どのように対応していくべきだと考えているのか。

【答】物価高騰に限った対応を求める声は把握していない。国や県の対策の効果や経済動向を引き続き注視しながら、適切なタイミングで必要な対策を検討したいと考えている。物価高騰は全ての市民に影響があることから、現時点では特定の業種などではなく、できる限り広く市民や事業者に行き渡る支援策を検討したいと考えている。





中学生の通学かばんの反射テープ取付による交通事故防止について

大久保 忠義 議員



【問】 社学園と滝野中学校のリュック型通学かばんは、従来の反射テープ付き通学かばんよりも夜間の視認性低下により安全性も低下していると考えが認識は。

【答】 ①自転車は後輪泥除けおよび左右両ペダルにリフレクター付きのものを選ぶ②自転車の後部には学校名・個人番号を書いた反射ステッカーを貼り付ける③生徒が被るヘルメットに反射テープを貼り付ける④自転車の車輪には全方向向けの反射板を取り付ける⑤冬場には反射板付き学校指定ウインドブレーカーの着用。これらの対策により、夕暮れ時の安全確保に取り組んでいる。通学カバンではなく、自転車本体や生徒の体そのものへの反射板の取り付けや夕暮れ時の運転ルールを徹底する方がより効果的な方法であると認識している。

【問】 リュック型かばんに反射テープを貼り付けた実証実験で、視認性はボストンバッグと同等を確保できると分かった。東条学園・社学園・滝野中学校のリュック型かばんに反射テープを貼り付けることにより、安全性向上を図れると考えるが、今後の取組は。

【答】 保護者から意見があり、協議が必要な場合には、地域、保護者、学校で構成する各校の学校運営協議会等において検討する。



(反射テープ視認性実証実験)

登山マップやトレッキングガイドブック作成について

【問】 気軽に加東市に足をお運びいただく一つのツールとして、作成してはどうか。

【答】 ガイドブック等の紙媒体の代わりに登山専用アプリの利用を推奨していく。なお、市内5コースのフットパスマップは、市役所と市観光協会で紙媒体により配布するほか、ホームページにも掲載している。



災害時の個別避難計画について

小川 忠市 議員



【問】 個別避難計画とは、災害時に一人では避難行動が困難な高齢者や障がい者等がスムーズに避難できるよう、その一人一人の状況に合わせて必要な支援などを記載した避難行動の計画である。この計画作成は、2021年の災害対策基本法改正で市町村の努力義務となったが、加東市における現在の個別避難計画策定の進捗状況はどうか。

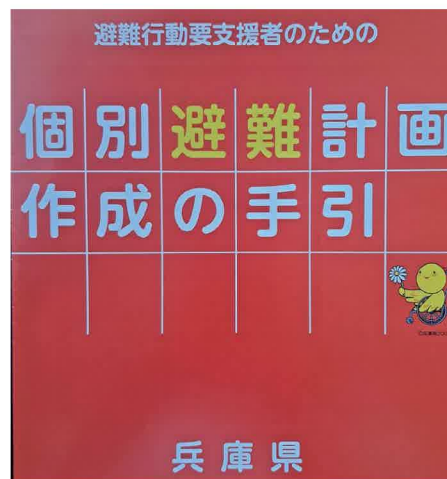
【答】 庁内の関係課や福祉専門職と協議を重ね、他市の取組等を参考に、令和5年度途中から事業を開始しており、個別避難計画の作成件数は累計27件となっている。

【問】 計画作成対象者は「避難行動要支援者名簿登録者」とあるがその人数は。

【答】 避難行動要支援者名簿に同意登録されている944人のうち、ハザードマップ上の浸水想定区域等の災害に被災する危険性の高い地域に居住している方の登録が489人である。

【問】 今後、単身世帯の増加や高齢化が進み、要支援者に対して支援者不足や高齢化の影響が懸念されるが市の見解は。

【答】 支援者不足や支援者の高齢化という課題は市としても懸念している。そのため、毎年区長・自治会長、民生児童委員、福祉専門職へ働きかけを行い、引き続き、個別避難計画の内容や必要性を丁寧に説明することで地区等に働きかけ、支援者確保に努めていく。



兵庫県のリーフレット

一般質問



滝野総合公園多目的グラウンドの外部トイレの洋式化について

小 紫 泰 良 議員



【問】滝野総合公園多目的グラウンドの外部トイレの男子トイレには洋式トイレがなく、困っているとの話があった。また、女子トイレにも洋式トイレが少ないようだ。トイレの設置はどのような構成か。

【答】男子トイレは小便器が9基、和式が2基。女子トイレは和式が11基、洋式が1基。多目的トイレには洋式が1基設置されている。

【問】若年層から高齢者まで多くの方の利用がある。洋式トイレへの変更を検討しているのか。

【答】幅広い年齢層が利用される施設であることから、洋式トイレへの改修については、早期の対応を進める。

□「幻の山桜」の復活について

【問】安土桃山時代のふすま絵などにたびたび描かれたものの、近年ではほとんど見られなくなった「幻の山桜」が、今から31年前の平成6年に加東市田中地区で確認された。樹齢は約150年。この品種の桜は、室町時代に発見され、京都に献上されたと考えられており、その後、田中薬師堂の境内に持ち込まれた可能性

がある。平成12年に枯れたため伐採されたが、二世が残っている。市として保存・育成に取り組んでは。

【答】樹木医の診断では、二世は良好に育っている。平成7年に社町指定天然記念物に指定された樹木の特徴である「しだれ性の山桜」の樹形をしており、「幻の山桜」の命を引き継いでいると考えられる。今後は、三世への継承に向け、田中地区と相談をしながら、樹木医の助言を受けて挿し木や接ぎ木などに取り組み、保存・育成に努めていく。三世への継承が成功した暁には、朝光寺や清水寺などへの植樹も検討していく。



満開の薬師桜（2世）



東条地域における悪臭被害と市の対応について

橋 本 匡 史 議員



【問】東条地域で長年にわたる悪臭被害について、地域住民から「なんとかしてほしい。」「生活に支障をきたしている。」との切実な訴えがある。その苦情に対して、本年3月に実施された臭気調査の結果について、具体的な測定方法、測定地点、測定時間、風向や気象条件を含めた調査結果はどうか。

【答】採取は令和7年3月12日の午前中に実施。当日の気象条件は曇り、風向は北風であった。調査の結果、調査対象とした10種類の特定制臭物質のうち、低級脂肪酸であるノルマル酪酸が濃度の規制基準である0.001ppmをわずかに超過していることを確認した。

【問】悪臭防止法に基づき、市として勧告・命令といった行政指導の段階的対応を行う考えはあるか。

【答】臭気測定結果を踏まえ、今後、必要な行政指導を段階的に実施していく方針である。期限を定め、追加の対策を盛り込んだ改善計画書の提出を求める。提出された計画について内容を確認し、必要に応じて指導および改善対策の進捗状況の確認を行う。改善指導に事業者が従わない場合は、悪臭防止法に基づき、段階的に改善勧告、改善命令の手続きを講じる。

【問】加東市環境基本条例を踏まえ、市としての方針と責任の所在を、改めて明確にしていきたい。

【答】悪臭に関して、公害苦情処理の責任は市にある。公害の原因となる行為に対しては、法令に基づき適切に規制や指導を行っていく。

【問】この問題について、区長等への説明会などを東条地域で行う予定や考えはあるのか。

【答】3月の測定結果および市と事業者の取組について、6月上旬から順次、個別に説明を開始している。今後も適宜、近隣の区長と状況を共有していく方針。





東条川河川敷の草刈り作業や 中州の堆積物について

長谷川 幹雄 議員



【問】 河川改修による当時の事業内容と、他地区の草刈り作業の実態や、補助金等について他の河川と比べて状況はどうか。

【答】 東条川の河川美化活動については、昭和50年代後半に大雨洪水により、被災した河川の改修工事を行うにあたり、東条川美化推進協議会を立ち上げ、東条川流域に位置する地区に協力いただき行ってきた経緯がある。東条川を含めた県管理河川における他地区の草刈りの実態は、令和6年度加東市河川区域内環境保全事業として東条川をはじめ、千鳥川や出水川など、合計13河川、延長約59km、面積約29haにおいて草刈り作業を39地区1団体に協力いただいている。

補助金は、加東市河川区域内環境保全事業補助金交付要綱に基づき、県が管理する河川区域内のごみの収集・運搬および草刈りに対して、事業推進費として1地区当たり3万円、事業経費として作業面積1㎡当たり10円を河川管理者と市が2分の1ずつ負担して交付している。

【問】 草刈り作業を業者に頼むと経費はどのくらいか。

【答】 1㎡あたり、約300円。

【問】 中州の堆積物はいつ撤去するのか。

【答】 東条川の中州については、堆積土砂は、治水上著しい程度ではなかったため、当面様子を見ることとするが、河道内に繁茂している樹木については速やかに撤去する。湾曲部の河床の堆積・低下傾向が見られる箇所については、非出水期に堆積した土砂を低下している箇所に移動するなどの河床整正を行う。



東条川中州の堆積物と樹木



プレコンセプションケアの取組について

別府 みどり 議員



【問】 プレコンセプションケアとは性や妊娠に関する正しい知識を身に付け、健康管理を促す取組をいう。国はプレコンセプションケアに関する体制整備を図るとし、県においても推進応援サイトを開設している。本市のプレコンセプションケアに対する認識は。

【答】 本市でもプレコンセプションケアを推進していくことは大切であると認識している。今後は、その必要性や概念について、国や県の情報・資材を活用し、積極的に啓発していきたいと考えている。

小学校高学年～中学生の皆さんへ
健康で元気に夢をかなえる キミの先手必勝

かがやく未来
はじめの一歩。



兵庫県プレコンセプションケア応援サイト

□里親支援センターとの連携について

【問】 令和7年4月に加東こども家庭センター管内に里親支援センター施設が開設された。今後、市としてどのような連携を取っていくのか。

【答】 市が進めている子育て短期支援事業（ショートステイ）の委託先として里親を紹介していただいたり、啓発活動においても調整が取りやすくなると期待しており、今後、個別ケース会議への参加依頼などで連携を図っていく。

□緑化推進事業（花いっぱい運動）について

【問】 この事業は、各地区への季節に合った花苗の配付による緑化推進活動であるが、猛暑など近年の気候の変化を勘案して花苗を選定することが、後々の管理体制の負担軽減にもつながると考えるが見解は。

【答】 特に夏に配付する花苗の品種についてはこれまでの花苗に限定せず、検討・選定していく。

一般質問



教育現場におけるカスハラ防止と トラブル支援に関して

高瀬 俊介 議員



【問】現在多くの企業、官庁では、従業員、職員を守るため、カスハラ（※）対策を進めている。学校現場でも同様の取組を行い、教職員を守らなければならないと思うが、本市においてはどのような対策、取組をしているのか。

【答】学校では日々、保護者から様々な相談や申し出がある。相談や申し出については「保護者が困っておられる」という基本姿勢の下、誠実に対応している。面談の場合は必ず複数体制をとっている。教職員を守るための対策としては、どうしても納得いただけない場合や無理難題を言われて教職員が対応しきれない場合は、管理職が対応し丁寧に話し合いを重ね、理解をいただいている。また一人の教職員が事案を抱え込まないように相談体制を整え、チームとして対応するように取り組んでいる。なお、昨年度からスクールロイヤーを配置し、学校における様々な問題に対し必要に応じて法的な助言を得ながら対応を進めている。

【問】教職員の服務監督を担う教育委員会は、学校のトラブルに関してどのように関与、支援をしているのか。

【答】学校内のトラブルに関して解決が難しい場合は教育委員会が話し合いに入り、学校に対応を指示する等、解決を図っている。また、適宜スクールロイヤーに法的な助言を得ながら、学校が気持ちに余裕をもって適切に対応できるように支援している。今年度は、一学期に2回、スクールロイヤーによる学校訪問を実施し、学校が気軽に相談できる体制を整え、トラブルの早期発見、早期対応ができるように努めている。



（※）教育現場におけるカスハラ（カスタマーハラスメント）とは、親や保護者が学校や教職員に対して過剰な要求や暴言を繰り返す行為を指します。



社地域旧小学校等の活用等について

大畑 一千代 議員



【問】本年3月以降の提案状況は。

【答】自然体験や移住促進の拠点、スポーツ中心の複合施設、ゴルフ特化型研修センターなど6件ある。

【問】提案に関して「事業計画、資金計画等できる限り具体的な内容を記載すること」としているが、一般市民や地域になぜここまで求めるのか。

【答】実現・継続の可能性、市民にとって効果的か判断するため。具体的でなくても受け付けている。

【問】旧社小学校は市や地域が活用しない場合は取壊し売却となるが、市が直接宅地分譲をできないか。民間事業者への売却は市内業者にメリットがなく、街並みも不安。市街地に良い影響を与え活性化につながる「街」にすべき。

【答】仮に住宅地として売却することになった場合は、一時的な財政への大きな負担、街区形成や販売のノウハウ・専門的スキルの必要性などから専門事業者に委ねるほうが有利な手法と考えている。選定の際の条件設定で地元業者の参入の機会確保も可能と考える。

【問】地区計画で最低敷地面積など設定すべきでは。

【答】単に規制をかければ参入業者も減る。ヒアリングでしっかりと対応していきたい。



宅地分譲の案が出ている旧社小学校

□保育所・こども園の入所状況について

【問】本年の待機児童・入所保留児童の状況は。

【答】待機は0人。保留は特定保育所希望14人、育児休業中6人、求職活動休止4人の合計24人。

【問】保育に欠けている児童はいない。小規模保育事業所を整備しても入所する児童はいないのでは。必要性は。

【答】年度の途中では増えてくる。特に0～2歳児については、小規模保育事業所等に空きがあれば入所させたいという保護者はいることから需要はある。



市民病院の救急医療確保の繰り入れについて

藤尾 潔 議員



【問】市民病院に対して、令和6年度より特別利益の繰り出しを廃止し、救急医療確保のための負担金を約1億6000万円から約3億1000万円に増額した。これは特別利益の付け替えではないかと指摘してきた。

他市の事例として、令和7年度の予算で北播磨総合医療センターの救急医療を含む市の負担金は、3億670万円。西脇市の予算書には見当たらず、加西市は約2億700万円であった。救急の受け入れ件数とともに、補助金に対する考え方を聞く。

【答】令和4年度実績で、西脇市立西脇病院は6478件、市立加西病院は7805件、北播磨総合医療センターは9800件、加東市民病院は1598件である。高度急性期医療を担う北播磨総合医療センターや西脇病院と、急性期医療と回復期医療を担う当院の救急患者の受け入れ件数を踏まえて、救急医療の確保に係る繰入額を比較することは適切ではないと考えている。

□学校跡地の活用について

【問】社地域小学校跡地の検討状況について聞く。

【答】福田地域から公共施設として残してほしいとの案が出たので、他の地域でも公共施設としての活用案があれば提出いただくことが可能な旨を伝えた。鴨川地域からは、令和5年11月に提出した活用案を地域が提出した活用案にしてほしいとの回答があったが、それ以外の地域については引き続き検討委員会で検討したいとの要望や公共施設としての活用案の提案提出はなかった。地域からだけでなく個人民間事業者等からも数多くの提案をいただいております、それらを精査して来年3月には市としての活用方針を決定する予定。

社地域小学校等の施設及び跡地の活用に係るご意見、ご提案の受付について

更新日：2025年03月13日
市では、社中書小学校の跡地に伴い開設する社中書小学校校舎、図書あふれ子ども館への統合に伴い開館となる社中書子ども館及び社中書小学校の施設及び跡地の活用について検討しています。

活用に関するご意見、ご提案がある方は、メール、ファックス、電話窓口で受け付けますので、お気軽にお知らせください。ご意見は、社中書小学校跡地の活用とさせていただきます。なお、具体的な実施時期などはまだありません。

社中書小学校の跡地は、ご意見については、事業計画、資金計画等でもより具体的な内容を記載してください。

1 対象施設

施設名称	位 所
社中書小学校	加東市1500番地
福田小学校	加東市2700番地1
東田小学校	加東市上久米1000番地
東田こども館	加東市上久米272番地
三幸小学校	加東市上三幸119番地
鴨川小学校	加東市平本1300番地
鴨川保育園	加東市平本1300番地



市ホームページ



ひとり親家庭の養育費未払い問題解消に向けた支援強化について

松本美和子 議員



【問】ひとり親家庭の人数と養育費の受取割合は。

【答】令和7年4月末現在の児童扶養手当受給者230世帯のうち養育費受給者は58世帯、約25%である。

【問】172世帯が養育費を受け取っていない。養育費はこどもの権利。こどもの貧困にもつながる。この数をどう受け止めているか。

【答】25%は少ない。増えるべき数字と思っている。

【問】福山市などでは養育費確保のための弁護士費用を補助するなど具体的な支援をしている。加東市もこのような具体的な支援ができないか。

【答】相手に払う能力・意思がないと思ってあきらめていることもある。まずはそういう意識改革のために面接等で話をしていこうと思っている。

□高齢者・障がい者の生活支援強化に向けた家庭ごみ戸別収集の導入検討を

【問】高齢者や障がい者の家庭ごみの戸別収集の実施に関する今後の取組予定は。

【答】「現状の対応で必要な方に支援ができていないので予定はないが、将来的には検討する。」

【問】三木市、小野市、加西市等で実施しており、西脇市も10月から実施予定だ。加東市でも検討する余地はないか。

【答】必要な方が出てくれば試験的に職員で対応し件数が増えてくれば制度化するという事を考えている。

□職員の生理休暇制度改善と働きやすい職場づくりに向けた取り組みについて

【問】生理休暇の名称を「健康支援休暇」などに変更し、取得しやすくしてはどうか。

【答】休暇の取得促進のため、今年度内にすぐに行う。



養育費は子どもの権利

第27回 議会報告会開催

5月16日(金)～18日(日) 19:00～20:30

5月16日(金)



1班 河高交流センター



2班 上三草公民館



3班 新定公民館

- * 公共交通の活用方法をもっと詳しく説明してほしい。
- * 滝野地域小中一貫校開校に向け、滝野南小学校の校舎・アフタースクール・体育館・運動場の方向性は。
- * 穂積地区内で滝野コミュニティバスが方向転換時に支障を来している。
- * 河高地内の旧道路は、交通量が多く速度の速い車が通る通学路である。安全確保ができるか検討してほしい。
- * デマンド型交通は、運転免許証を元々取得していない人が利用できない。規制を外すべき。
- * 小中一貫校整備で、市財政が心配。
- * やしろ台では住宅周辺にまで鹿やイノシシが群れで出てくるのでなんとかしてほしい。
- * 都市計画区域の線引き廃止後も一定の規制は必要。基準を決めてしっかりコントロールしてほしい。
- * 市民病院の診療科をもっと増やしてほしい。
- * 他市と差別化した未就学児の遊び場の整備を希望。
- * 東条地域から直接小野方面への公共交通手段がないので、高校生の保護者は送迎が負担である。
- * 市の公共交通の説明が難しく聞こえる。みんなで公共交通を利用しなければならない。
- * 県道564号学園道路が大雨時に冠水し、学生の自転車通学などの通行が危険である。
- * 県道の手入れを地元でやっているが、側溝が落ち葉で詰まる。落葉樹を切してほしい。
- * 街路樹で視界不良。もっと剪定回数を増やしてほしい。
- * 社地域の旧小学校を残す基準は。
- * ろうあ者との交流機会をもっと作ってほしい。

5月17日(土)



1班 貞守公民館



2班 山国公民館

議員が3班に分かれて地域に出向き「地域の課題」をテーマに参加者と活発に意見交換を行いました！（全9カ所 参加者延べ人数125名）

- * 東条第一体育館では、トイレや道具置き場の片隅で男女交代で着替えを行っている。改善してほしい。また、館内の壁が真っ白で卓球の練習時に球が見づらいため、改善してほしい。
- * 少分谷地区と西戸地区を結ぶ上橋という沈下橋が6年前に流され、住民は困っている。
- * 農作物作りに興味関心のある人に、空き家を紹介し、交流人口を増やす手立てにしては。
- * 東条図書館は冬場は足元が寒い。空調の改善を。
- * 加東市の知名度が低い。もっと市の魅力をPRしてほしい。
- * 中学校部活動の地域移行で、指導員研修の受講費用が5～10万円かかるので助成をしてほしい。
- * 市のホームページの申請様式はPDF形式が多い。ワード・エクセルにしてほしい。
- * 藤田地内の千鳥川が濁っている。汚染されているのではないかと心配なので調査してほしい。
- * 若者層の選挙投票率の向上対策は。
- * イノシシが田んぼの畦を崩してしまう。対策を。
- * スクールバスの運転手の健康管理・点呼などは。
- * 小学校がなくなると、地域内の交流がなくなる。
- * 通勤車両、スクールバス、徒歩通学生、自転車通学生が集中すると予測される滝野学園の通学路の安全対策は。みどり大橋交差点の通行量が多く心配。
- * 手話フェスタを短縮せずに開催してほしい。
- * 自主運行バスの運転手を地域限定にせずに、市全体で公募しては。
- * 高速社パーキングエリアのバス停駐車場が暗すぎて危険。街灯や防犯灯が必要では。

5月18日(日)



1班 上田公民館



2班 上鴨川公民館



3班 上滝野公民館



3班 上久米公民館

☆担当班☆

- 1班 大久保忠義、廣畑 貞一、小松志津雄
岸本眞知子、小紫 泰良、橋本 匡史
(河高交流センター・貞守公民館・上田公民館)
- 2班 高瀬 俊介、大畑一千代、古跡 和夫
藤尾 潔、松本美和子
(上三草公民館・山国公民館・上鴨川公民館)
- 3班 別府みどり、中村 龍治、小川 忠市
長谷川幹雄、大城戸聡子
(新定公民館・上久米公民館・上滝野公民館)

Bass Fishing Tournament 加東市杯 in 東条湖初開催

令和7年
6月15日
日曜日



東条湖スタッフ
水沼さん

加東市杯が開催できて、釣り具メーカー様からも、市の協力でバス釣り大会が開催されたことは前例がないと聞き嬉しく思いました。継続した大会に今後していきたいです。



東条湖スタッフ
北風さん

たくさんの参加があり、釣果も50cmオーバーとあり、初めての加東市杯が無事に終わって良かったです。

6月15日(日) 東条湖で、イチバンエイトグループ主催、加東市とIMAKATSUが共催で、加東市杯として開催されました。行政がバスフィッシングを応援してくれる、そんな大会が実現できて嬉しかったです。

市長も挨拶におこしいただき、東条湖でバスフィッシングをこれからも楽しんでくださいと言葉をいただきました。これからもプロアングラーとして、東条湖BIGBITEスタッフとして、これからも何十年先も東条湖でバスフィッシングを楽しめるよう、環境づくりに努めます。

(三原プロ)



プロアングラー 三原 直之さん

クイズ&アンケート募集

市民の皆様から、かとう市議会だよりへのご意見を聴かせていただくためクイズ&アンケートを行います。

クイズに正解し、かつ、ご意見を書いていただいた方から、抽選で3名様に、加東市カード会加盟店で使える1,000円の商品券をプレゼントしますので、奮ってご応募ください。なお、当選者の発表は商品券の発送をもってかえさせていただきます。

クイズ ○に入る文字は？

加東市が災害対策で購入するのは
○○○カー

応募方法

応募先

はがきの場合

〒673-1493 加東市社50
加東市議会事務局 Q&A係

メールの場合

件名を「かとう市議会だよりQ&A応募」とした上で下記メールアドレスまでお送りください。
メールアドレス:
gikai@city.kato.lg.jp

はがき・メールに、

①クイズの答え

②市議会だよりや、市議会へのご意見

③住所・氏名

①②③を必ずご記入の上、ご応募ください。

8月15日消印有効

※前回(73号)の正解は…「249」でした。

9月 定例会 の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
9時30分 定例会 (初日)		9時00分 総務文教 常任委員会	9時00分 産業厚生 常任委員会	委員会 予備日		
7	8	9	10	11	12	13
9時00分 決算特別 委員会	9時00分 決算特別 委員会	9時00分 決算特別 委員会				
14	15	16	17	18	19	20
		9時00分 決算特別 委員会		9時30分 定例会 (一般質問)	9時30分 定例会 (一般質問)	
21	22	23	24	25	26	27
					9時30分 定例会 (最終日)	
28	29	30				

上記の日程は変更になる場合があります。
最新情報は、ホームページでこちらから
ご確認ください。



編集後記

6月の慰霊の日に読まれたおばあちゃんの詩は孫の目線でつづった平和の願いを込めた詩です。「命どう宝」って大切な想いが胸に響きます。戦争を知らぬ私たちが世代こそ語り継ぐ責任があります。平和は自然に生まれるものではなく、過去の過ちから学び、祖先が守りたかった未来がここにあるなら、奪われた笑顔を忘れてはなりません。

加東市は2009年に非核平和都市を宣言し核兵器廃絶と平和推進を誓いました。

本誌を通じて平和を考えるきっかけになれば幸いです。誰かが泣かぬ世界を目指し、今できることを共に進めましょう。

(松本 美和子)

議会広報委員会

委員長 橋本 匡史
副委員長 藤尾 泰良
委員 小川 忠市
長谷川 幹雄
大城戸 聡子
松本 美和子